



## ことば遊び ～ 新聞を使った遊びをしよう! ～

正しく発音するには、体全体を動かして生活することが大切です。子どもの運動は、体の中心から外側へ、粗大運動から微細運動へと順に発達していきます。ことばの育つ土台には、体作りが重要です。いろいろな感覚を複合して遊ぶ経験は、脳にたくさんの刺激が入り、自分の体をうまく使って遊べるようになります。今回は、新聞を使った遊びを紹介します。ご家族皆さんと一緒に遊びましょう!

### ○ 新聞バランスゲーム

新聞紙(5枚程度)を細長く丸め、端をテープで止めて「新聞棒」を作り、手のひらに乗せて倒れないようにバランスを取って遊びます。うまくできるようになったら、指の先に乗せて挑戦してみよう!



バランスを取りながら、体幹を保ちます。

### ○ 新聞破りゲーム

新聞紙を床に広げ、半分ずつ2人が立ち、足の裏は新聞に付けたまま、体をねじったり、腰や膝をひねったりして、新聞が破れるまで遊びます。破れた新聞紙の大きい方が勝ちです。



体をねじりながら、転ばないように踏ん張ろう!

### ○ 新聞ジャンプゲーム

大人が新聞棒(新聞バランスゲーム参照)を床に付け、子どもの足元で左右に動かします。子どもは新聞棒に当たらないように、両足でジャンプをします。様子を見て、大人が速さや回数を調節しましょう。



タイミングをみながら、ジャンプしよう!

転ばないようにバランスを取ったり、踏ん張ったりすることで、体幹も鍛えられます。お子さんの動きを見ながら、大人の動きを調節することで、安全に遊んでください。

## 十五夜おつきさま



この時期は空気が澄み、月がきれいに見えます。中でも旧暦の8月15日(今の9月下旬)の満月は一年で一番美しい月とされ、平安時代から月を見る行事として続いてきました。「中秋の名月」と呼ばれ、豊作への感謝から里芋を供える地域では「芋名月」とも呼ばれます。昨今はスーパームーンと呼ばれる満月が大きく見える日が人気ですね。台風が来ないように願いつつ、月見団子を食べながら秋の夜空を見上げてみませんか。

気持ちの余裕がなくなりそうなこんな時期だからこそ「行事と食」のつながりを大事にしたいなと思います。

『おつきさまえらいの かがみになったり  
くしのようになったり はるなつあきふゆ  
にほんじゅうをてらす』 (わらべうた)

幼児教育センターは、就学前から小学校教育へつなぎます。  
夢と希望のもてる たからっこを  
応援します!

宝塚市教育委員会 幼児教育センター  
〒665-8665 宝塚市東洋町1-1  
電話 0797-71-1141(市役所)  
0797-77-2132(直通)  
FAX 0797-71-1891  
E-mail m-takarazuka0289@city.takarazuka.lg.jp



★ 発達・就園・就学等の相談がありましたら、上記にご連絡ください。